

様式 4

平成 30 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立岩美高等学校

校長 山中 洋介

評 価 日	平成 31 年 2 月 20 日 (水)	
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等	
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ①進路指導の充実・・・B 評価 ②生徒指導の充実・・・C 評価 ③学習指導の充実・・・B 評価 ④保健・人権教育の充実・・・B 評価 ⑤開かれた学校づくりの充実・・・B 評価 <p>(2) 説明・公表について</p> <p>学校の取組状況は、学校評価アンケートの結果をもとに評価されており、学校関係者評価委員に適正に説明されている。また、学校ホームページで活動する生徒の姿が地域に情報発信されている。</p> <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <p>裁量予算は、学校の重点目標に照らして適切に割り振られている。基礎学力向上と地域連携の重点校として活動がより活性化されることを望む。</p> <p>3. 取組改善のための提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「進路指導の充実」について、目標に対して達成度を検討すると評価が A でもよいのではないか。学校の良さを PR する面においても評価が辛いのではないか。 ○「基本的生活習慣とマナーの定着」で指導の徹底は難しいと思うが、将来のためにきめ細かな指導、見逃さない指導が岩美高校の良さである。 挨拶について、教員がもっと中に入って声をかけていくと生徒も変わるのではないか。 ○「個を大切にした教育環境の改善」は生徒を大切にした指導や分かりやすい授業取組みは、生徒にとってよいことである。改良を加えながら更により取組みとしていってほしい。 ○「学習指導の充実」に関して、授業では少人数指導がされており、生徒一人ひとりをよく見てもらえている。これが岩美高校の魅力である。 ○「開かれた学校づくりの充実」では、一つの方策としてイワツ・ミッションの取組みをとおして地域とのつながりを広げていってほしい。中学生に対して、岩美高の先輩の姿を動画で紹介するとわかりやすいのではないか。 	<p>○効果のあった取組みは継続し、目標達成に向けて内容の研究を深め、組織的体制を確立させる。</p> <p>○学校評価アンケートは年度毎の変化が見られるよう同じ質問を基本として、目標に則した質問も取り入れている。岩美高校の良さを外部にもっと発信していく手立てを検討する。</p> <p>○基礎学力向上と地域連携の重点校として本校の体制を確立し魅力ある学校運営を行い生徒募集につなげたい。</p> <p>○教員はトータルに判断し、辛く判断しがちである。今年度はトータルで判断し、来年度は目標設定の段階から検討したい。</p> <p>○基準を明確にして丁寧に関わっていく。生徒から挨拶するのを待つのではなく、教職員から声掛けをしていく。</p> <p>○チェックリストで職員の意識を高め、効果的な支援につなげたい。</p> <p>○基礎学力の定着に向けて、イワツ検定の見直しを含め、研究していく。</p> <p>○地域連携重点校として、地域連携の体制を確立させていく。中学校説明会などで動画の利用について検討する。</p>	